



碧南ロータリークラブ週報

第2995回例会 令和3年10月27日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

(一社) 碧南青年会議所 2021年度理事長 杉浦晴太郎様
 // 渉外国際交流委員会 委員長 新美慶太郎様

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。非常に天候が良くて過ごしやすい季節を迎えております。

10月24日(日)に明石公園でロータリー奉仕デーを初めて開催させていただきました。早朝より沢山の会員の皆様にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。当クラブは伊藤ガバナー補佐を輩出しておりまして、IMを主管するクラブでございます。そういう関係で高浜 RC と初の合同事業ということになりましたけれども、当日は非常に天候にも恵まれて、用意させていただいた風船かずらの種も予定通り配布することができました。杓名ガバナーの方針にコロナゼロ・カーボンゼロがございますけれども、その方針に合わせた形で、来場者に対して積極的にコロナゼロへの取り組みも行いました。少なからず、ロータリーの公共イメージの向上に貢献できたかなあと考えております。



新美雅浩会長

さて、来週の日曜日には衆議院の総選挙が近付いております。本日、卓話をお願い致しました青年会議所の事業で、YouTube を使って地元 13 区の立候補者の公開討論会を配信して見えました。お疲れ様でした。いずれにしても、選挙というのは民意を反映した政治を行っていただく為に貴重な 1 票を投じていただく機会でございます。是非とも投票に足を運んでいただきたいと存じます。選挙管理委員長をされる栗津幹事、副委員長をされる岡本さんにおかれましては、深夜までの大変なお役目だと思いますけれども、しっかりと最後まで投票を見

送っていただきたいなと思います。よろしくお願い致します。

本日は民意を反映するという事に関連しまして、皆様、3.5%ルールというのをご存知でしょうか。ハーバード大学の研究ということなんですけれども、人口の3.5%の人の気持ちを動かせば、社会変革ができる可能性があるという研究が行われております。この法則でいくと、日本は430万人ぐらいの方の心を掴めば、社会変革をすることが不可能ではないということになります。そのことを実施する為に2点重要なことが必要だと言われております。1点目は同じ思想・考え方をを持ったコミュニティが形成されていて、そのコミュニティによる草の根運動が展開されているということ。2点目は現状当たり前となっている変えられないというふうに思われるものを変えられる立場にある国や企業を巻き込んだ仕組みづくりができるかどうか。この2点にかかっているということでございます。この両輪が進めれば、私利私欲や色々なしがらみによってなかなか進まない腐敗した政治を退けて、社会変革を起こすことが可能であるということが言われておまして、実際に世界中の色々なところでそういった社会変革が起きているのが現状でございます。この3.5%という数字でございますけれども、それほど良いものではなくて、本当にこんな数字の人の支えで世の中を変えられるのかなあと思われがちなんですけれども、実際に目に見えて賛同する人が3.5%いれば、目に見えなくてもその活動に賛同している人は計り知れないということでございます。様々な抵抗勢力を跳ね返すエネルギーがどの地域の地殻にも眠っているものと考えてるのが自然でございます。

将来の繁栄の為に今どのような社会変革が必要なのか。行き着くところは健全な国民一人一人の民意によって成し遂げられるということを改めて申し上げまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

どうぞ本日もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- 地区大会実行委員会より、地区大会プログラムと名札が届いております。商工会議所を出発でバスに乗って行かれる方につきましては、当日のバス車内にてプログラムと名札をお渡しさせていただきます。現地集合の方につきましては、本日、ボックスの中に入れていただいておりますので、くれぐれもお忘れなきようによろしくお願い致します。地区大会出席の方は、ゼロバッジの着用をお願い致します。
- 11月3日（水）は法定休日の為、休会になります。
- 10月末日にてクールビズの期間が終了致しますので、次回からはネクタイのご着用をよろしくお願い致します。



栗津康之幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

| | |
|--|------------|
| 総会員数 65 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 11 名) 出席者 54 名 | |
| 出席対象者 54/63 名 | 出席率 85.71% |
| 欠席者 11 名 (病欠者 1 名) | |

<ニコボックス>

- 小笠原良治様 ロータリーに浄財として活用して下さい。
- 新美 雅浩君 }
粟津 康之君 } 10月24日、日曜日に明石公園でおこなわれたロータリー奉仕デーに参加されたみなさま、大変お疲れ様でした。岡本様、角谷様、リーダーシップ発揮いただき、感謝しています。
- 平岩統一郎君 }
長田 豊治君 } 24日(日)の明石公園でのロータリー奉仕デーには多くの会員にご参加頂き、盛大に開催できました。準備を頂いた皆様に感謝申し上げます。本日27日は、I.MのPRに知立クラブへ出掛けます。有難うございました。
- 伊藤 正幸君 ロータリー奉仕デーに参加された新美会長はじめ会員の皆様、大成功でした。ありがとうございました。
- 岡島 晋一君 24日でまた1つ年を取りました。本日の卓話講師 杉浦晴太郎様を紹介させていただきます。

卓 話

「65年目の碧南青年会議所」

(一社)碧南青年会議所 2021年度理事長 杉浦晴太郎様



杉浦晴太郎様

皆様、こんにちは。一般社団法人碧南青年会議所 本年度理事長の杉浦晴太郎と申します。本日は貴重な機会をいただきまして、誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。

それでは、最初に自己紹介をさせていただきます。所属は一般社団法人碧南青年会議所でございます。役職は理事長。氏名は杉浦晴太郎と申します。入会は2015年でありまして、本年で7年目になります。年齢は37歳で、年末に38歳になります。勤務先は杉治株式会社でございます。

ここで個人的な御礼を1つさせていただきます。2019年の鈴木会長の年度の際に創立55周年～60周年までの物故会員の慰霊祭が開催されました。私の祖父も元会員であります。昭和34年が立ち上げの年だと思っておりますけれども、その年に入会をさせていただきまして、30年少々活動したと聞いております。私の祖父が元会員ということで、慰霊祭に名を連ねていただき

ましたので、その御礼をと思います。本当にありがとうございました。

それでは、本題に入ります。碧南青年会議所が2021年度に目指すものとはいうことでありまして、「活気溢れるまち碧南」を目指して活動しております。強い信念を持って、常に清く正しく美しく行動するんだということで、本年のスローガンでございます。本年度のテーマカラーはゴールドとミッドナイトブルーでございます。青年は常に光り輝いてハツラツと活気溢れる様子をイメージしてゴールドを選択致しました。ミッドナイトブルーはパッと見は黒です。よく見ると濃いネイビーという色でして、真夜中の闇を思わせる黒い青色という定義付けだそうです。事前準備なしに前進はできませんので、強い信念を持つということで、ミッドナイトブルーを選択致しました。そして、テーマ曲もございまして、信念を持ち、清く正しく美しく行動するというのがこの曲調に合っているかなということで、威風堂々しております。

次に組織の紹介でございます。委員会を5つ、周年の会議体を1つ設置致しました。渉外国際交流委員会、会務運営委員会、LOMアカデミー委員会、地域課題対策委員会、政治経済委員会、65周年運営特別会議でございます。それぞれの委員長と議長を紹介致します。渉外国際交流委員長に親和建設株式会社の新美慶太郎君、会務運営委員長にクロダイト工業株式会社の黒田英嗣君、LOMアカデミー委員長にギャザー東海株式会社の津波京太郎君、地域課題対策委員長に波多野建設株式会社の波多野泰央君、政治経済委員長にネギタ食糧株式会社の禰亘田高幸君、65周年運営特別会議の特別議長に茂吉不動産登記測量事務所の杉浦正隆君でございます。

次に事業の紹介でございます。1月5日に新年祈禱を行いまして、1年が始まります。毎年、毘沙門天妙福寺さんにお世話になっております。来年もどうぞよろしくお願い致します。そして、プレジデンシャルリース伝達ということですが、昨年度の理事長から私にリースが渡ってきまして、その後、1月例会で理事長として挨拶をするという流れでございます。このプレジデンシャルリースは昔からあるものではございません。2015年から始まったものでございます。そして、入会認証書伝達ということですが、本年度は8名の新入会員が入会してくれました。1月例会の主題として、新春お披露目会を開催させていただきました。新入会員の余興が碧南青年会議所の名物でございます。本年度は書道をしまして、新年を祝うということと、スローガンを力強く書いてくれました。続きまして、このお披露目会の御礼に市長・議長・教育長のもとに訪問致しました。そして、2月例会ですが、コロナの影響がございましたので、完全にWeb開催ということで、Zoomを使って全会員が参加しております。そして、定時総会では前年度の決算、本年度の事業計画の予算を最終確定する総会でございます。毎年1月～3月のどこかで開催するということで、例年2月に行われております。そして、スポンサーLOM公式訪問という碧南青年会議所の一番大切な事業がございます。65年前の立ち上げの際に名古屋青年会議所にスポンサーをしていただきましたので、毎年、こちらはこういう形でやらせていただきますという報告をしております。そして、3月には会員拡大の例会を開催致しました。講師を招いてメンバーを増やすかどうかを議論しました。この例会で各委員会から1年の目標を出してもらいまして、本年の会員拡大目標が21名になりました。そして、4月には人口増減対策の例会を企画しましたが延期、5月に

は青少年交流の例会を企画しましたが延期、4月については現在も延期中で、5月については先月開催致しました。更に5月にはSDGsについての事業をハイブリッド形式で開催致しました。そして、6月には災害対策の例会を開催致しました。本年はこの災害対策が肝だと思っておりますので、メンバーでしっかりと考えました。そして、7月例会として、65周年記念式典を開催致しました。新美会長、鈴木会頭、杉浦先輩にお越しいただきまして、ありがとうございました。杉浦先輩は本年度のOB会長ですので、ご挨拶をいただきました。鈴木会頭にもご挨拶をいただきました。そして、つい先日公開討論会を開催致しまして、立候補予定者にそれぞれの思いを発信していただきました。碧南青年会議所のホームページのトップページから見る事ができますので、どうぞよろしくお願い致します。ということで、結構対面で開催することができております。工夫をしてやるのが青年会議所ですので、前向きにやっております。

間もなく今月が終わりまして、残り2か月になります。色々な場面で「もうすぐ終わりだね」とお声掛けいただきますが、本当にそうなのかと日々疑問に思っております。2か月は1年の6分の1でございます。まだ終わりではありません。ここから更にアクセルを踏み込みます。年末に向けて、碧南青年会議所と市内の小学6年生で事業を開催致します。小学校に出向いて、植物についての授業を1時間程しまして、その後、明石公園にサクラの木を植樹します。これを11月中旬に開催予定でございまして、10年後にまたここで会いましょうというような周年記念事業を開催致します。そして、11月には新入会員の担当例会がございませぬ。ベテランメンバーは見守り、新入会員がゼロから例会を作って実施します。その経験を活かして今後活動していくということでございます。続きまして、碧南青年会議所と東京海上日動火災保険株式会社で、SDGsに関する包括連携協定を結びます。11月末に締結式を碧南商工会議所で行う予定でございます。また、碧南青年会議所と碧南市社会福祉協議会と碧南市で、大規模災害時における支援活動に関する三者協定を結びます。現在、打ち合わせを進めておりまして、年内に締結の予定でございます。

昨今の青年会議所の事情としまして、入会から卒業までざっと4年です。先輩方からしますと、10年以上やって当たり前だということだと思えますけれども、最近はこの状況でございます。ですので、青年会議所のごことが理解できて、ようやく面白くなってくる頃に卒業を迎えてしまいます。しかしながら、ここ数年は30歳前後の若手が多数入会してくれてきますので、この流れを止めてはいけません。3月の例会の時に掲げた目標は21名ですが、現在までで3名です。皆様のお近くに将来有望な方がいらっしゃいましたら、是非ご連絡ください。すぐに飛んで行きますので、よろしくお願い致します。

碧南青年会議所の2021年度はまだまだこれからでございます。どうぞご期待いただければ幸いです。計画したことを計画した通りにやり遂げるのが碧南青年会議所ですので、こういった行動を通じて、活気溢れるまち碧南を目指して参ります。碧南市の様々な会議で顔を合わせることもやまちでお会いすることもあります。その度に会長をはじめ、メンバーの皆様には激励をいただいております。その期待に応えられるように活動して参りますので、友好団体として、引き続きよろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和3年11月17日（水）

卓話「南海トラフ巨大地震に備える」

地区防災対策委員会 委員 成田孝則氏